

先端技術を活用した 海辺の安全管理

離岸流のAIによる検知など ライフセービングのDX

参加無料

定員300名
|申込不要|

わが国の海水浴場では、毎年2,000~3,000件の救助が行われ、その約50%が離岸流に起因する。視覚的に認知し難い離岸流に対して、海面の撮影画像をリアルタイムでAIが分析し、時間的・空間的に変化する離岸流を高い精度で検知して利用者やライフセーバーに通知するシステム、ドローンパトロール、ライフセーバーの活動記録の電子化など、先端技術を用いて事故防止や早期救助を実現する海辺の安全管理の現状を紹介する。

2024

4/20 **土**

13:00-14:30 (開場12:30)

成蹊大学6号館401教室

どなたでもご参加いただけます

講演者

石川 仁憲氏 中央大学研究開発機構教授



博士(工学)、技術士(建設部門:河川、砂防及び海岸・海洋)
東海大学大学院海洋学研究科修士課程修了
パシフィックコンサルタンツ(株)、海岸研究室(有)、(一財)土木研究センターなぎさ総合研究室主任研究員、中央大学理工学部兼任講師を経て2019年より現職。
(公財)日本ライフセービング協会理事兼救助救命本部長、海上保安庁海の安全推進アドバイザー、International Life Saving Federation Rescue Commission委員などを現任。
専門は海岸保全、波浪解析、離岸流解析、海岸利用リスク管理、水難事故防止と救助方法に関する技術開発。

司会者

佐藤 義明 成蹊大学法学部教授
成蹊大学Society 5.0研究所所長

プログラム(予定) (敬称略)

13:00-13:05

開会挨拶・研究所紹介

成蹊大学法学部教授
成蹊大学 Society 5.0研究所所長
佐藤 義明

13:05-14:05(60分)

講演

中央大学研究開発機構教授
石川 仁憲

14:05-14:25

質疑応答&アンケート

14:25-14:30

閉会挨拶

※詳細は、Society 5.0研究所公式ウェブサイトをご確認ください。本講演会のオンライン配信はございません。

